

ゆめサロン

便り

平成 28 年 10 月 8 日

吉賀町ゆめサロン

No. 330

秋真っ盛り

皆様お元気ですか。
アキアカネが飛び始め
空にはシラサギが舞い、
コスモスが揺れる季節になつてき
ました。空を仰ぎ、深呼吸すれば、
心もさわやかですね。



ウオーキング

近所の方が、歩きませんかと誘い
に寄つて下さったので、仲間に入れ
て頂きましたが、みなさん早いのに
私は、足の裏のタコが痛くて遅れ気
味です。体は一番デカイけど...

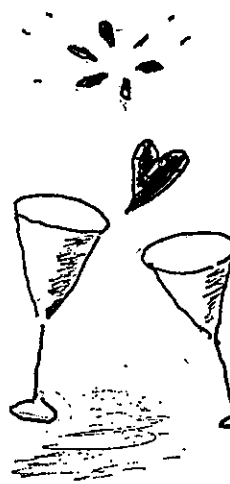


話しは、ちぐはぐ、耳が聞こえる人
聞こえない人、背丈もちぐはぐ、「松茸
はあるかな」と一人が言うと、「猿が
出るらしいよ。」と話はつながる様
な違ふような、楽しく一時間歩いてき
ました。別れる時、「お腹が空いた」
と一人が言われるとみんな同感、こ
れは聞こえたら嬉しいです。



朗報です。 癌の薬

その名前は、オプチーボとかいうの
だそうです。日本が作った日本産の
薬だそうです。今のところ、皮膚が
ん、肺がん、腎臓がんの三つだけ保険
がきくそうです。一日も早く、みな
に使ってもらえる日が来るといいで
すね。希望を持ちましょう。



投稿

「うちのペット」



猫が体調を壊して大変でした
が二か月くらい経つと少し良
なり始めました。もう年ですから
悲しい思いで看病したのですが、
寿命というものは神様がきめて
おられるのだとつくづく思いま
す。ただ悪い癖をつけてしまいま
した。朝四時になると「あおん」
とないて洗面所に誘導するの
です。温かいお湯で洗ってくれと言
うのです。猫をそんなに洗ったら
体の皮脂を取るからいけないと
思う。と忠告して下さる方はおら
れるのですが、猫の誘導に負けて
しまいます。しかも朝晩、二回で
す。それと、変わったことは、一
緒に寝なくなつたのです。エサは
高級なキャットフードです。何か
違う、と言つて不思議に思います
が言葉の通じない問柄でどうに
もなりません。猫語がわかる様に
なりたいです。

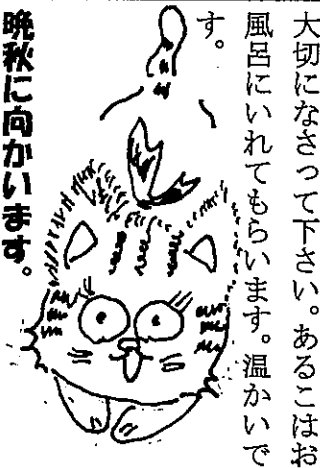


ある日は
こんにちは

皆様ご機嫌いかがですか。
大分涼しくなりました。
ある日は元気になりました。一時
期は弱つて、トイレの中に入る事が
出来ないくらいでした。それでも、
飼い主のお陰で元気を取り戻すこ
とが出来ました。近所の玉男くんは
ある日があまり食べないので、少
しかお皿にいれてないので横取り
することが出来ない為か来ません。
少し寒くなりましたね。皆様お体を
大切になさつて下さい。ある日はお
風呂にいれてもらいます。温かいで
す。

晩秋に向かいます。

天気の良い日は淋しいですね。皆
様体に気を付けて健康で楽しく過
ごしましょう。



ゆめサロン

便り

平成 28 年

10 月 15 日

吉賀町ゆめサロン

No.331,

十月のゆめサロン



秋桜が微風に揺れ青い空を羊雲が覆う日でした。秋祭りの幟があちこちに揺れている中、今回もいつものように保健師さんが待っていて下さり、島根県立大学の学生さんが実習で参加してくださいました。

そんな恵まれた中でメンバーの顔も晴れやかに、十月末で満八年のゆめサロンを行う事が出来ました。

初めにいつものように、一人ずつ経過報告をしました。その中で質疑応答がなされ、人の状態を聞きながら、つくづく厄介な病気だと思ったり、仲間がいるから頑張れると思ったりしました。



保健師さんより



インフルエンザの予防接種の時期になった。予防接種を受けるように、と言うお話があり、肺炎球菌の予防接種についての質問をしたところ、五年経過してから受けるようにとアドバイスを戴きました。

投稿

ゆめサロン老少女(おとめ)

つうたつ私(私)の昭和 ④

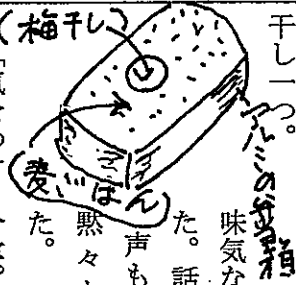


◎先日、誘われて久しぶり遠出をした山口県周防大島のはずれに建てられている「陸奥記念館」。前々から行きたいと思っていたところ。

太平洋戦争の真最中の昭和十八年に、山口県沖の瀬戸内海で、謎の爆沈をした「戦艦陸奥」の資料が展示してある建物である。戦後何年かたつて行われた引き上げ作業で、海底から掘り出された艦の一部、乗組員の遺品、また遺族から集められた手紙など、多く

の品が展示されている。私の足は？動かない、立ちすくんだ状態、手は？合掌のまま。なぜ沈んだのだらう？このことばかり思いながら見ていくが資料らしい物が見当たらない。隣接の図書室に行つて探すがそれらしきものなし。非常に残念。深く、長く敬礼をして館を出る。これからの私の宿題は、撃沈の謎を書いた資料を探し、それを読むことである。忘れてはならない戦争の悲劇である。

◎話はさかのぼる。昭和十六年十月二月八日、大東亜戦争が始まった。以後、毎月八日を大詔奉戴日(たいしようほうたいび)といい、この日学校へ持つて行くお弁当は、日の丸弁当である。ごはんの真中に梅干し。



味気ない昼食だった。話し声も笑い声もせず、ただ黙々といただいた。「梅干し」
「気をつけ！合掌。」「兵隊さん、ありがとうございます。」「気をつけ

！合掌。」「兵隊さん、ありがとうございます。ちそうさまでした。」

◎行進練習、海軍体操、手旗信号、拳手の敬礼、「かしらーっ右」「なおれ」暑い練兵場で訓練をさせられた十代。あのころは、貧血をおこして倒れる生徒などいなかったように思う。たまに歌を歌うといつたら、軍楽隊の伴奏で、軍歌を。合図はラッパ。勇ましいこと！

◎六年生の時、学芸会で斉唱をした。教科書に出ている歌ではなく、「父よ、あなたは強かった。」という歌だった。そう、軍歌である。二番は「夫よ、あなたは強かった。」自慢じやないけど、一番は今でも歌える。あのころの音楽の時間は、軍歌を習う事が多かったように思う。

思い出せば、腹立たしいやら、情けないやら、あわれをもようすやら、そしてなつかしいやら。ただただ勝つことのみを信じて動いた私の昭和である。



終わり

ゆめサロン

便り

平成 28 年

11 月 13 日

吉賀町ゆめサロン

No. 332

紅葉の季節です

皆様お元気ですか、



毎日、あたりの景色は色をかえて、いよいよ一年の総仕上げのような季節になりました。ここにこんな色の木があつただろうか。と思うと次の日は鮮やかな赤になつていたりします。何気なく見とれていきますと、小さくて黄色い蝶々が青く澄んだ空に向かって飛んでいきました。辺りは明日はどんな色になるか楽しみです。

思い出(投稿)

こうして巡りくる季節の中で必ず思い出すのが歌でありメロディである。私は幸せなことに



勤めている頃に、ピアノの凄く上手な方とペアで仕事をさせてもらったことを今もつくづく感謝し懐かしく思い出す。弾いて下さった曲の数々が思い出のシーンと一緒にスライドショーのように流れて心地よい。それは、私が苦手だったピアノを、いとも簡単に弾いて下さり心弾む瞬間だった。今その方は三人の子供さんのお母さんになられ、子供さんは医療関係に進まれたかたもおられ、お母さんと同じに、優秀で、世のために尽くされるまでに成長なさつたと聞く。またゆつくり逢つて積もるお話をしたいものである。こうして書く間にも、やがて来る季節のあわてんぼうのサンタクロースの曲が聞こえるような気がする。そしてあのかたのにこやかな笑顔がみえるようである。いつも思い出してあの頃を懐かしみながら感謝する。

不思議なことこの頃、その方のお母さまが私の妹によくしてくださる。そうで不思議な縁を感じる。

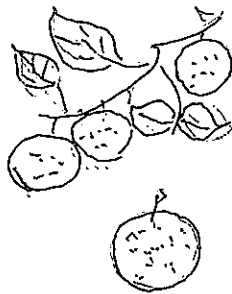


紅葉



紅葉を見るのは何十年と続き、今に始まつたことではありませぬが、毎年その進み方や、色合いは違う事を今年は特に感じるように思います。それだけ時間に余裕があるのでしようか。気候がそんなに違うのでしょうか。それだけ体調がいいのかもしれませんが。命あることを感謝します。やがて吉賀の里は錦の里となるでしょう。

ゆずもぎ



晴れた空のもと、深緑の木に鮮やかな黄色いゆずがたわわになつているのはほんとに綺麗なものです。でも寒くなつてもそのまの姿は佳しさを感ずります。そこでゆずもぎを夫に頼んで私はずぎ取り棒の先のゆずを取るのです。ところが眩しくて、棒の先で

うまく挟めないらしいのです。そこで私は考えました。枝を切つて倒したものをもぐのです。とげとげの木ですから大変です。その様子を見た夫は呆れました。「切つたら来年からならんわあね。」と・・・
酔を絞り、毎朝野菜ジュースに入れて飲むのです。残りの皮でマーマレードを作りました。おやつが出来ました。

あることです。

皆様こんにちは、お元気ですか

あることは元氣になりました。顔は今はやりの小顔で目は大きくなりました。飼いの主のように臆やしみはありません。飼いの主は、可愛いねを連発してカメラを向け写真を撮りまくりまします。あることはあのシャッター音と光るのが大嫌いで、威嚇してやりました。ところが口を半開きで目が吊り上がった般若のような写真が出来たのです。それを飼いの主はフェイスブックに投稿していたのです。人に見られて恥ずかしいのに。



ゆめサロン

便り

平成 28 年

11 月 19 日

No.333 号

吉賀町

十二月

例会



あたりは綺麗な紅葉が取り巻いている中、夫が風邪をひいて欠席するので、慣れない私の運転で、雨があがったばかりの吉賀路を走りまわりました。メンバーさんと楽しく話しながらのドライブです。ついに見ますと、保健師さん、課長補佐さん、社協の訪問看護の看護師さんがお茶の準備を待っていてくださいました。いつものことですが、感謝しながらの開会です。保健師さんから、嘔吐下痢の風邪がやはり始めたので気を付けるように手洗いを良くすること、と指導をいただきました。社協の看護師さんからは、自分の最期を迎えるときの考えを記したものをわかるように記したものを

を置き家族が困らない様に意思表示しておくことが大切というお話しをされました。このあと、色々話し、そして歌い、あつと言う間の一時半でした。今回は新しい方がいらして下さり、新鮮な気分でした。外は雨も止んだらしく、晩秋の薄日が館内に差し込んでおりました。



ゆめサロン、老少女(おとめ)のひとりごと、私の昭和 ④

○昭和十年代、父はシャンハイ勤務だった。四年生位の時と思う。父宛の手紙をよく書かされた。母は筆まめだからよく書いていた。私は母と向き合っって書いていた。読んだ父からの返信には文面上の注意が書いてある。今も忘れないのは、「迎春を迎え...と書いていたが、迎春とは春を迎えることだから、これはおかし

い。」と。あ、ほんとだ。反省した。年賀状の迎春という文字があれ、今でも思い出す。誤字脱字があったらたいへん。

一所懸命書いたものだ。良い指導をうけありがたく思っている。私は歴史が好きだ。これも父の影響だと思いうろろな話をしてくれた。

○授業中、突然校内放送が――「敵機来襲、全員待避。」机の上をさつと片付け、防空頭巾をかぶり机の下にもぐる。やがて「アメリカ爆撃機B29、高度三千米」とかいつて不気味な爆音が流れてくる。まだ空襲もない頃のこと。高度と爆音を聞きわけける訓練だろう。後々のはげしい空襲に役立ったとは思わないが、まあ何度も何度も訓練があった。忙しかったなあ。○学校代表として、私達のクラスが始めて海軍工廠にいった。航空母艦「阿蘇」の進水式に参列した。居並ぶ多くの海軍将校、軍艦マーチと軍艦旗はためく華やかな式典を想像したが、何とも静かな進水

式だった。あのころからもう景気が悪かったのでもあるまいに。

カーンと槌の音がして、艦は静かにドックから離れ、海上に浮かんだ。拍手をしたか？ばんざいと叫んだか？覚えていないがあっけないものだった。その阿蘇は、長い間呉湾の同じ場所にいた。戦争に参加したのだろうか。

それとも呉湾爆撃の時、沈んだのだろうか。



阿蘇のことを書いた文献など見たこともない。

有難うございました。次号を楽しみにします。



あるです。箱にホッカイロをいれてもらって毎日飼い主たちの動向をみます。お風呂番とモーニングコールをあるこの役目にしていきます。この頃は寒いからあるこのお風呂はやめていきます。皆様お元気で(´・`・´)

ゆめサロン

便り

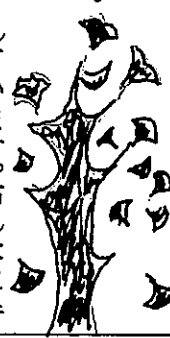
平成 28 年

11 月 27 日

吉賀町ゆめサロン

No.334,

晩秋です。



雨がしぐれていきます。枯れ木に半分くらいの葉っぱがしがみついている木の下には色あせた落ち葉が雨に濡れてへばりついていきます。まさにぬれ落ち葉です。晩秋の日曜日の風景は寂しいです。こんな日は炬燵の中で猫と戯れる一日を過ごします。



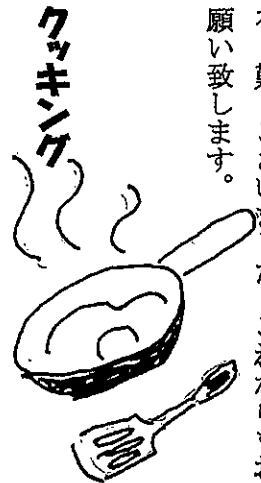
十年生かして
いただきました。

振り返ると短いです。お医者様を信頼し、言われるとおりに過した

友達夫婦



十年でした。サロンにも助けられました。だんだん年を重ねていくわけだから、これから、不調な時もあるでしょう。お医者様は、私の顔をみて、話され、胸の音を聞いて納得した顔で、パソコンに打ち込んで下さいました。私のがんは三センチもあり、リンパもとって頂きました。そんな私ですが、誠意をもって支えて下さったことに、感謝の気持ちいっぱいです。もう一度精密検査しておしまいです。有り難うございました。皆さんに申し上げたいことは、がんは治らない病気と思わないでください。と言う事です。お医者様、看護師さん、行政の方々、仲間です。下さった方たちに、もう一度、心より有り難うございました。これからもお願い致します。



クッキング

既にご存知かと思いますが、野菜炒めの味付けに、焼き肉のタレを使うといいそうですね。私もやってみたいと思います。

ぼけぼけある子

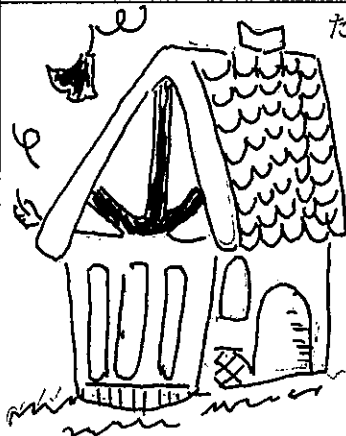
です。

皆様こんにちは！

ある子は元気になって、生き帰りしました。これからは猫の着ぐるみを着た人間と使うことにしました。



昨日は飼い主の大事な友達がご夫婦で来てくださいました。ある子は嬉しくしてお愛想をして気付いてもからおうとするのに飼い主と言ったらかっこ悪いんです。あること二人だけのように、あることよしよと抱きかかえるのです。「ぎゃくああ」といつてやりました。飼い主の友達のパグにすりすりして甘えて、その人の足に顔をくっつけて歓迎しました。うちの飼い主は頭悪いから「まああんなに可愛がつてやるのに恩知らずだねえ」というのです。そのお友達はある子のことをご可愛いとまでなでしてくれました。あたりが暗くなつたころ、友達は帰っていききました。ある子にさようならもいわないで・・・



ゆめサロン

便り

平成 28 年

12 月 4 日

吉賀町ゆめサロン

No.335

師走です。

お元気ですか。



光陰矢の如し・・・本当にその通りです。よくいったものですね。言葉通りに年取ったらたまったものではないですね。誰かが言いました「年を取るのは知恵がついた証しと、」

そうしますと私は大分知恵がついたことになりました。有り難いことです。いい年の瀬を迎えましょう。

晴れた日に



二日、三日は滅多にないような晴天でした。空は青く黄色いゆずがすずなりで、山すそには柿がオレンジ色の光を放っておりました。シラサギが羽音を立てて飛び、酔っぱら

ったような赤トンボが、草むらの野菊の上で羽根を休めておりました。こんな絵の様な景色をじっと見ていたことがあったでしょうか。忙しく、走って通った私の人生は、今、立ち止まりの時間を載せております。

四日は雨、まだ少し残った赤や黄色の葉っぱが名残惜しそうに、枯れ木にへばりついています。雨、それはそれで風情を感じます。



あの日か
十年立ちます。

「嘘だろう、いや十年だ。」

乳癌宣告を受けてから手術を受け・・・ただ言われる通りに生きてきた私です。いえ生かして戴いたので、三百六十度ただ、ただ頭を下げるのみです。これからも今までと同じに謙虚に生かさせていただきたいと思う私です。関わって下さったお医者

様や医療関係の方はじめ、多くの方々に心から感謝いたします。有り難うございました。

これからもよろしくお願い致します。

似たもの同士



私はよく、子供を育てたと申しますが、私の場合、育てたのではない育てさせてもらったのだ。とつくづく思います。

娘と電話して「あそこの五重塔を覚えてる？」というと申し訳なさそうに、それが覚えてないのよ。というのですが無理もありません。二歳か三歳の子をそんなところにつれて行くほうが無理だと今になつたらわかります。それをいうと娘も、小1と小4の子供を京都の有名なお寺の石庭に連れて行くと、カマキリがいてそれを見て楽しんでたと言っていました。私達親子は時に、子供を育てたと自己満足をしているようだ、と

似たもの同士笑いました。

お元気か。

皆様お元気ですか。

最近あるこは年を取ったのか朝になると、飼い主を早く起こしたくて、色々な方法で起こします。時間は4時過ぎから始まります。まず、5時から6回続けてなきます。飼い主は、それにこたえるように2回くらいにやおんと返します。それでも起きては来ません。次そこらあたりをだだだだだだつと走ります。すると飼い主のツレが新聞を取りに出ます。飼い主はまだまどろんでいます。仕方なく今度は低い声でおおんというとおウム返しでおおんといいます。以前は一緒にねていたのである子も気持ちよく寝ていたのであるが、今は寒いから早く起きてもらわないと困ります。箱にホツカイロだけではむりです。元気になったある子はこうして一日が始まります。



ゆめサロン

便り

平成 28 年

12 月 17 日

吉賀町ゆめサロン

No.336.

十二月の

ゆめサロン

例会



一日前は今年初めての積雪がありました。ゆめサロン例会の十七日は、何とか天気は持ち直しましたが寒い日でした。家のファンヒーターが燃焼はするのに灯油臭いので、急遽買いに行きましたが午後からの例会への楽しみもあり、お店で流れるクリスマスソングにつられてウキウキする気持ちでした。

そして午後、いつものように保健センターでは保健師さん、課長補佐さん、社協から訪問看護の看護師さんが私達を迎えて下さり会は定刻に始まりました。

保健師さんからは先月に引き続きノロウイルス、インフルエンザの流行の兆しの話やそれに対しての

対処の仕方として手洗いの励行などの注意事項のおはなしを戴きました。また、高齢者は蛋白質が足りないという報告があるから気を付けるようにといわれました。課長補佐さんからは、お友達達の乳癌の事を知られて、心配されたお話しを伺い、看護師さんは横浜のお友達が乳癌の手術をされたけど、あまり休まれることなく職場復帰されたが、いまでもお元気でお勤めを続けておられるという心強いお話を伺いました。今日の患者経験者は乳癌が多かったのですが、みんな元気であることを喜びました。それぞれの経過報告をして話したり歌ったり、楽しい時間を過ごしました。



お待ちかね

ゆめサロン巻止女のつらいつと

「私の昭和」 最終

今年も十二月八日がきた。昭和十六年十二月八日、開戦記念日だ。戦前を生きた人々にとって忘れられない日だ。そして、昭和二十年八月十五日の終戦記念日、その間の日本の非常

時は、悲喜交々の出来事であった。小学校、は国民学校と改称、私も国民学校の卒業生だ。食糧不足、配給制度、灯火管制、度々のはげしい空襲、焼け出された人々の暗い表情、やみ市の雑踏、...あの頃、大声で軍歌は歌わされたけど、大声で笑ったことは少なかった。戦後も暗い時代が続いたが、家々の電気は明るかった。リンゴの唄など明るい歌が出来て町に流れたし、第一学校が始まったことが嬉しかった。焼けた学校だけど、友達と一緒に頑張った。映画も許可されたし、アメリカさんにもらったチョコレートも口にした。そのおもしろかったこと！なつかしかったこと！今の私のチョコ好きは、実はこれが？と思ったりする。読書も出来た。

世界文学全集なども読んだが、今の私の読書好きは実はこれが？と思ったりする。テレビはまだないが、ラジオも聞いた。鐘が鳴りますキンコンカン...ラジオの前で

歌った。

あれから七十五年の月日が流れた父や母のこと、そして私のこと、一代記みたいなのを書き始めたこともありますが、中断。

ペンを持つことは好きだが一寸気が重い。

近頃は気ばかりか体まで重くなつて、日々老化と戦っている。さあ、このへんできりをつけて新しい年を迎えたい。

来年も日々是好日、明るく過ごしたいと思っている。——終——

貴重なご体験談を月々にわたり拝見させていたいただき有り難うございました。改めて感謝いたします。

あるじさま

皆様こんにちは、

あるじは飼い主たちに守られて毎日元気に暮らしています。この頃は寒いのでホッカイロくらいでは眠れません。飼い主が寝てからそろりと飼い主の布団に入ります。飼い主と枕を並べて眠ります。また積もるお話し致します。皆様いいお年をお迎えください。ごきげんよう。



ゆめサロン

便り

平成 28 年

12 月 25 日

吉賀町ゆめサロン

No. 337

いよいよ

年の瀬です。

皆様お元気で、この時期をお迎え
になったことと思います。

来年もいい年でありますように、
お祈りします。



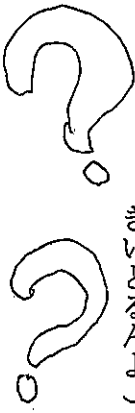
それって



私 「〇〇がない。知らん？」

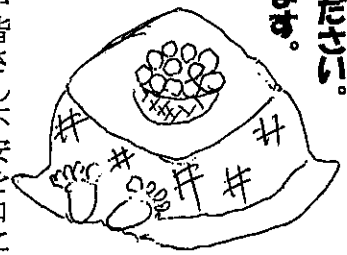
夫 「どこにおいといたん？」

私 「わからん」(わからんから
きいとするよ。)



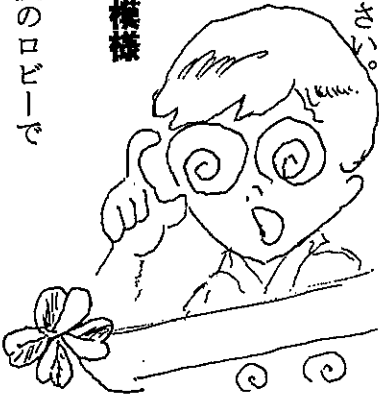
川柳をお寄せください。
お待ちしております。

目まいの時



経験された方が皆さん不安を口に
されます。勿論お医者様に診て頂か
ないといけません。起床時の目ま
いの時、応急処置として、頭を傾けて
振ったら治ることがあるそうです。
耳石が落ち着くのだとか、試してみ
られて、お医者様に必ず診てもらっ
てください。

人間模様



病院のロビーで

若い男性(高校生くらいでしようか)
と入院患者さんらしきお祖母ちゃん
がヒソヒソと話しておられました。
お孫さんらしい若い男性が言われる

には、

「お祖母ちゃん、もうすぐお正月
で帰りたいのはわかるけど、ここ
にいたほうがいいよ」

「・・・」

お祖母ちゃんは泣いていました。

「おばあちゃんが帰ればお母さ
んはせんないんよ。ここにいたほ
うがいいよ」

「・・・」

生きるって大変だなあと悲し
ざる雰囲気から逃げるように、私
は病室に帰りました。

お祖母ちゃんの幸せを祈りな
がら・・・。

足の負傷



忙しいといいながら、掃除機を
かけたりスタスタと家の中を歩
き回っているうち、あいたたたた
足指の指を健康器具にぶっつけて
大変な騒ぎしました。湿布を貼っ
て痛い痛い騒ぎです。かかりつ
けのお医者様に診て頂いて、レン
トゲンを撮って頂きました。結果
は良好でした。そうそう折れるも

のではないね。と自信持ったわたし
です。翌日からは元気にスタスタ歩
いています。

あるんです。

「んじゅんは



今年も後少しですね。あるこは来
年は十八歳になります。ある子の一
生は飼い主とそのツレに守られて
人間的な生活を送っています。飼い
主はある子との日々を絵本にして
十三巻くらいありますが、まあちや
ちなものです。ところどころの頃とて
も寂しく夜中に何回もあおんとい
って飼い主を起こします。すると飼
い主もあおんといいます。そのせい
でサンタが来ることが出来ないん
だと飼い主が言いますがそれはま
ちがいだと思います。サンタは来た
くないのでしよう。さあ皆さんい
い年をお迎えください。

らいねんもよろしく

